

## 想定している洪水・高潮の規模

洪水の規模は、概ね50年に1回程度起こる大雨が降った場合を想定

高潮の規模は、伊勢湾台風規模の台風が最も大きな高潮を発生させた場合を想定

水俣市の浸水想定区域は、熊本県が提供する洪水と高潮を合成したシミュレーションデータ(H19.4現在)を基に作成しています。

なお、洪水・高潮シミュレーションは、想定を超える降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、浸水区域以外のところでも浸水が発生する場合や、この地図に示される水深が実際と異なる場合があります。

こうずいたかしお

# 洪水・高潮

台風や集中豪雨などで河川が増水したり、海水が堤防を越えて低地に浸水したりすると、内陸部まで広い範囲にわたって大きな被害が生じます。また市街地では、短時間に大雨が降ると十分な排水がしきれずに道路や宅地に水があふれ出し、洪水となることもあります。



浅くても流れが速いと立っていることも困難で危険です。特に台風の高潮などは速度が非常に速く、大変危険です。早めに高台やコンクリート造等の頑丈な建造物の二階以上に避難しましょう。

逃げ遅れた時は、無理して動かずに、高い場所で救助を待ちましょう。



はぐれないようにお互いの体をロープで結びましょう。長靴やサンダルは水中で脱げたりして歩きにくいです。



50cm前後の深さなら歩いて避難することもできますが、溝やフタの外れたマンホール等がないか、棒を杖にして足下を探りながら用心して避難しましょう。



避難の車で渋滞すると救急車などの緊急車両の通行の妨げとなります。また、道路や堤防などに車を放置しないでください。



車での避難はかえって危険です。30cm程度の水でマフラーに水が入りエンジンは止まります。電気系統はショートしてパワーウインドウは動かなくなります。水圧でドアが開かなくなり車ごと流されたりします。

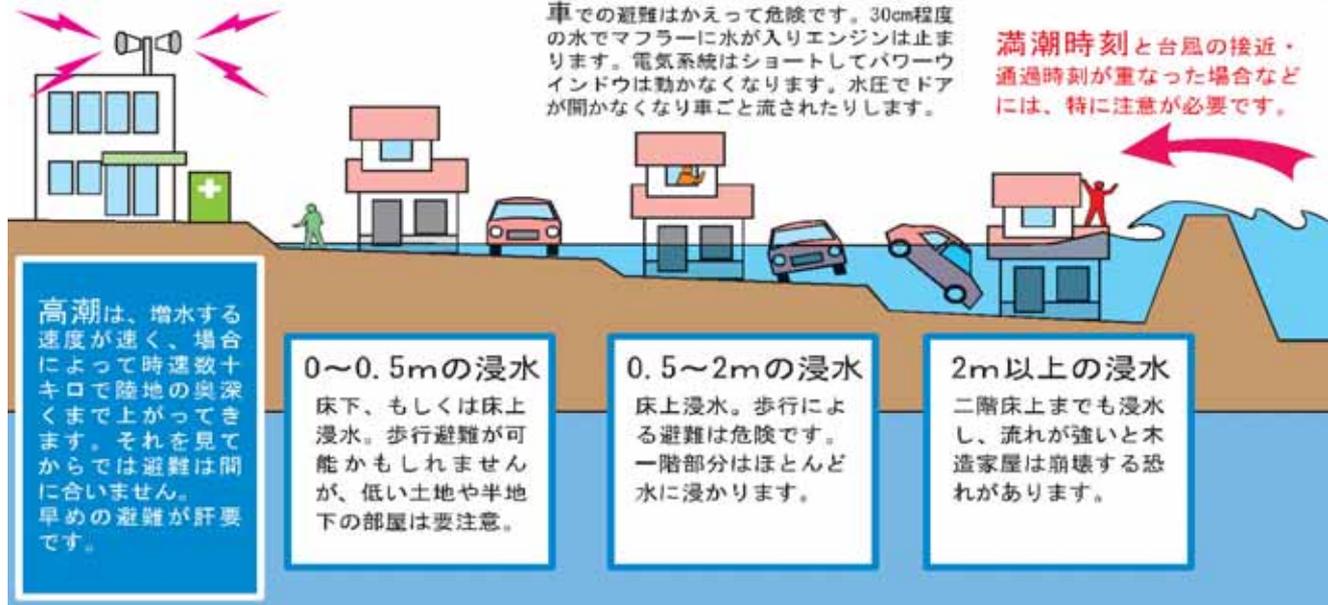


(H15 被災写真)



(H15 被災写真)

満潮時刻と台風の接近・通過時刻が重なった場合などには、特に注意が必要です。



## 浸水の危険な箇所を知る

水俣市災害避難地図(洪水・高潮・土砂災害ハザードマップ)を全世帯に配布しています。

お持ちでない方は、市役所3階総務課で配布しています。

また、ハザードマップは次のページでも確認できます。

[http://www.minamatacity.jp/jpn/bo-sai/hazard\\_map/hzmap.html](http://www.minamatacity.jp/jpn/bo-sai/hazard_map/hzmap.html)

浸水の危険箇所に含まれていないか、避難経路に危険なところがないか、あらかじめ確認しておきましょう。

## 河川などの目安水位について

水位	設定水位			潮位
	水俣川左岸 新水俣橋	水俣川左岸 深川(桜野橋) 下流側	湯出川 第三中学校横	水俣港
水防団 待機	2.34m	2.46m	0.89m	(警戒潮位) 3.80m
氾濫注意	3.24m	3.91m	1.70m	
避難判断				
氾濫危険	3.81m	5.55m	2.50m	

## 情報確認

水俣川、湯出川の水位、水俣港の潮位は、次のところで確認できます。

(PCの場合)

熊本県統合型防災情報システム

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp>

(河川水位情報、海岸風向風速情報の芦北地方を確認してください)

(携帯電話の場合)

水俣市災害用携帯HP

<http://www.minamatacity.jp/mobile/02bousai/bousai.htm>